

広報

第991号

いながわ

3

月

令和4年
(2022年)



大きな紙に等身大の「僕」を描いたよ♪(子育てサークル「共同保育たんぽぽ」・社会福社会館)

特集

令和4年度施政方針
ひと・まち・暮らしを元気に
～住民が安心して暮らせるまちを目指して～

令和4年度 猪名川町当初予算	4
新型コロナ関連情報	9
チョイソコいながわ本格運行スタート!	10

※今月号は、新型コロナウイルス感染症対策による取材活動の自粛などにより、一部コーナーをお休みしています

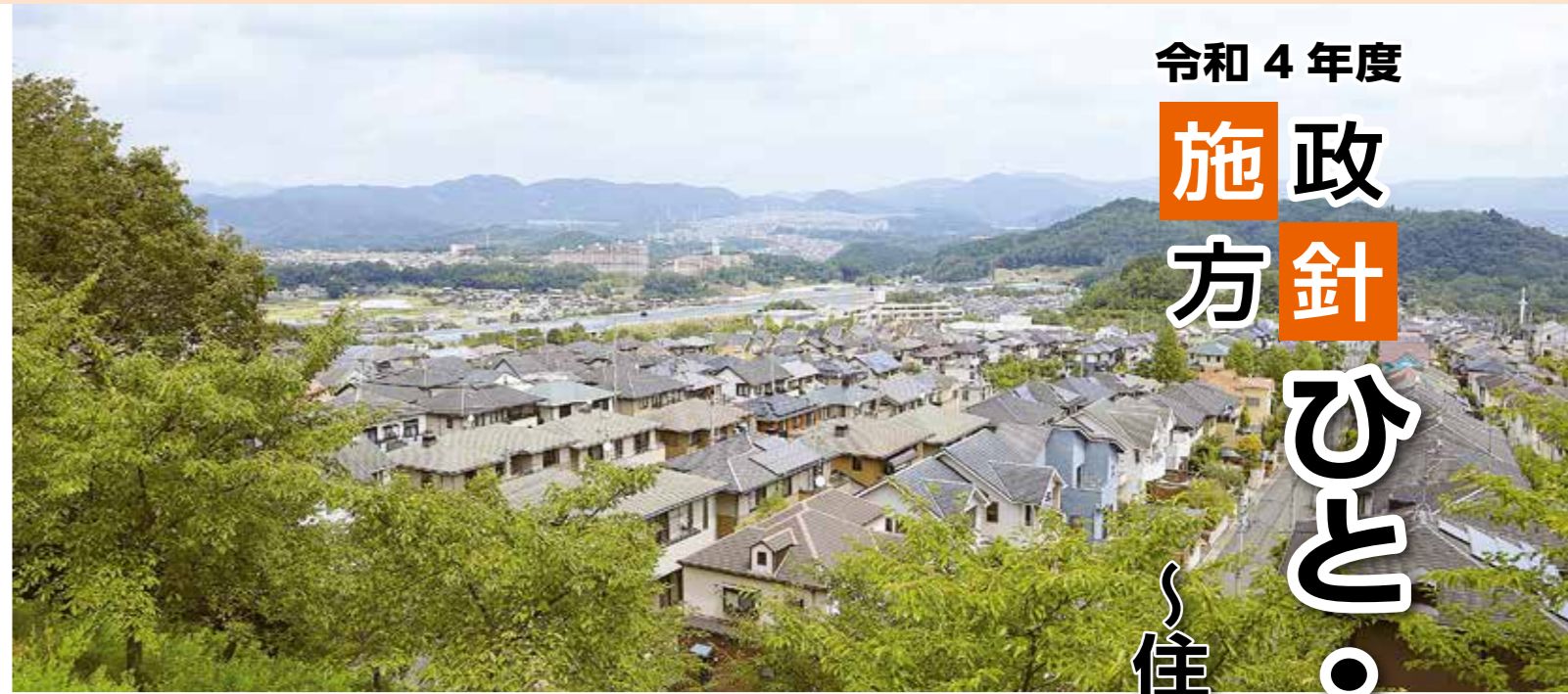


菜の花の上でひと休み(北野バイパス)

施政方針

ひと・まち・暮らしを元気に

「住民が安心して暮らせるまちを目指して」



2月22日に行われた第409回町議会定例会で、岡本町長が令和4年度の施政方針を表明し、第六次総合計画の実現に向けた町政運営と重要施策について説明しました。※要旨抜粋・全文は企画政策課窓口または町ホームページ

▼問合せ 企画政策課（☎766・8711）

令和2年度から10年間のまちづくり 第六次総合計画

"つながり"と"挑戦" 幸せと
笑顔あふれるまち猪名川を目指して
～猪名川町が取り組む6つのまちづくり～

- ①交流・活力をうみだすまちづくり
- ②誰もが挑戦・活躍できるまちづくり
- ③人を大切に育てるまちづくり
- ④健やかにくらせるまちづくり
- ⑤自然と共生し快適にくらせるまちづくり
- ⑥安全・安心を守るまちづくり

※6～8ページで令和4年度予算における主要事業概要を掲載

「猪名川町」の知名度向上へ

全国的な人口減少が進む中、本年2月1日現在の本町の人口は2万9961人となり、ついに3万人を下回りました。人口減少に歯止めをかけ、持続可能なまちづくりを実現するためには、これまでに以上に「都市近郊の自然豊かな町」の魅力を発信し、移住定住施策に注力する必要があります。

を活用した積極的な発信として、移住のターゲット層である子育て世代向けに、大阪府エリアを中心としたファミリーレストランでの広告宣伝を実施してまいります。また、関西大学との連携協定事業の中で、学生からの提案内容をヒントに、若者から子育て世代を中心に人気のあるYouTubeチャンネルに、参加型広報動画「YouTube TubeコンテストINAGAWA」を開催します。動画を制作する人も見る人も、このコンテストを通じて猪名川町を知り、興味を持っていただける機会を創出してまいります。

安全・安心のまちづくり

近年、全国各地で局所的な集中豪雨により甚大な土砂災害などの被害が発生しています。そのような中、本町における自然災害の被害を最小限にとどめるため、「箇所別土砂災害危険度予測システム」の検証を行い、令和5年度からの本格運用を目指してまいります。

また、地域の防災力向上を図るため、町の防災に関する基本理念を定める条例の策定に取り組み、より一層の安全・安心のまちづくりを進めてまいります。

予測困難な社会を生き抜く力を 育む学校教育

昭和22年に開校した中谷・六瀬両中学校が、令和4年3月に閉校し、75年の歴史に幕を閉じます。4月には、新たに両校を再編した「清陵中学校」が開校します。

グローバル化や情報化が進み、社会環境の変化が加速度を増す中、新設校を含め町内全ての学校において、子どもたちに予測困難な社会を生き抜く力が育つ学校教育を目指して取り組んでまいります。

道の駅いながわ 移転・拡充計画を中止

本町の財政運営については、人口減少や少子化・超高齢社会に加え、コロナ禍が追い打ちをかけ、厳しい局面を迎えています。限られた財源を有効に活用するためには、住民ニーズに対し、行政が果たすべき役割を検証し、事務事業の範囲を見直すなど、時代に即応した効率的な行政運営が必要です。

こうしたことから、平成28年3月より進められてきた「道の駅いながわ機能拡大プロジェクト」における南田原地区への移転・拡充計画を中止とさせていただきます。これは、先の町長選挙で私が住民の皆様から託された公約の実現でもあり、現在、中止に向けて必要な手続きを進めているところです。今後は、既存の道の駅いながわの改修および南田原地区の町有地の利活用について検討を進めてまいりますので、ご理解をいただきたいと思います。

新型コロナウイルスとの闘いはまだまだ先行きが不透明と言わざるを得ませんが、住民の皆様が安心して暮らし、一人でも多くの方が猪名川町の元気を実感できるように精一杯尽力いたします。



猪名川町長 岡本 信司